

長野県聴覚障がい者

# 情報センターだより

No.49  
2018.6



発行：長野県聴覚障がい者情報センター

〒381-0008 長野県長野市下駒沢586 サンアップル2階 Fax 026-295-3567 Tel 026-295-3530  
http://nagano-choujou.com/ E-mail : info@nagano-choujou.com

## 特集 あなたは盲ろう者のことをご存知ですか？



聴覚障がいと視覚障がいをあわせ持った盲ろう者の上原康彦さん。長野県内で盲ろう者の支援をしている「ながの盲ろう者りんごの会（長野市）」の初代会長として盲ろう者の福祉向上のために活動してきました。上原さんに盲ろう者としての思い、通訳・介助員に対する願いをお聞きました。

聞こえなくなってから視力が低下した上原さん。その時の状況は？

今から10年ほど前、徐々に視力が低下してきました。その時に身近な人から盲ろう者の全国大会（広島大会）があるので参加してみたらどうかといわれました。大会に行くと自分と同じような仲間がいることがわかり、盲人が使う白杖を使うことを決めました。

最初は盲ろう者と見られることに抵抗があったのですか？

そうですね。最初は抵抗がありましたが全国大会に参加して自分が盲ろう者であることを受け入れることができました。

盲ろう者の大会に行く前までは盲ろう者は自分ひとりしかいないと思っていました。盲ろう者がこれほど多くいるということに驚きました。

## 盲ろう者の大会のことをどのようにして知ったのですか？

盲ろう者向け通訳・介助員の研修に行っている人に教えてもらいました。視力が落ちたころ、周りの人はわたしのことを心配してくれました。その方々が盲ろう者向け通訳・介助員の研修会があることを知り、さらに別の人にも研修会に行くよう勧めたそうです。盲ろう者になったわたしをサポートするため周りの人たちの支援の輪が広がっていきました。うれしかったです。

## 盲ろう者向け通訳・介助員の派遣制度が始まってから変化はありましたか？

もともと白杖を使って一人で出かけることもありましたが、妻と一緒に外出することもありました。盲ろう者向け通訳・介助員の派遣制度が始まってからさらに外へ出る機会が増え、いろいろな人との交流を楽しんでいます。通訳・介助員がいると安心しますね。



## 通訳・介助員にはどのようなことを望みますか？

盲ろう者がさらに安心して外出できるようにしてほしいですね。また、周りの状況がわかるように知らせてほしいです。例えば桜が咲くころでしたらどのくらい咲いているのか、咲きはじめなのか満開なのか散り始めなのか教えてほしいです。また出会った人についても、どんな髪形でどんな顔立ちなのか、めがねはかけているのか、女性ならアクセサリはつけているのかなど知りたいです。見える人にとっては何気ない情報のように思いますが、盲ろう者にとってはそういうことも知りたい情報なのです。

## 最後に一言

盲ろう者どうして話をするとお互いのことが理解でき、安心することができます。そのためにも多くの盲ろう者と会って気持ちを理解しあい、盲ろう者や周りの人たちとの交流が広がっていくといいですね。



「ながの盲ろう者りんごの会」の皆さん

盲ろう者は全国で2万3千人いるといわれ、そのうち90%は外出やほかの人とのコミュニケーションが難しく家にこもりがちだそうです。長野県内には300人の盲ろう者がいるそうです。

ながの盲ろう者りんごの会では盲ろう者やその支援者がメンバーとなり、定期的に交流を深めています。創立から10年の今年は、11月3日（土・祝）に10周年記念イベントを長野市内で行う予定です。盲ろう者の方や盲ろう者と交流してみたい方は参加されてはいかがでしょうか？

上原さんのお話を動画でも見れます。  
QRコードを読み込むと動画を見ることができます。



# 盲ろう者のことを知ってください



## 盲ろう者とは

目と耳の両方に障がいをお互い持つ方のことです。

視覚と聴覚の障がいの程度により全盲ろう、全盲難聴、弱視ろう、弱視難聴の4つに分けられます。

盲ろう者のコミュニケーション方法は触手話など手話を元にしたものや、指点字など点字を元にしたものがあります。



触手話



指点字

## わたしたちができる支援

盲ろう者は一人ひとりのコミュニケーションの方法が違います。どのように情報を伝えればよいのか本人に合った方法で伝え、確実に伝わっているか常に配慮しましょう。今、起きていることが本人に伝わりにくい場合、今の状況を伝えることも大切です。

## あなたにもできること

声をかけるときは盲ろう者の方や手に触れて自分の名前を手のひらに書くなど自己紹介をしましょう。

盲ろう者に話しの内容が伝わっているか確認し、伝わっていないときは言い直したりさらに説明を加えましょう。

移動するときは自分の肩や手に盲ろう者の手をのせて介助しましょう。

## 盲ろう者向け通訳・介助員とは

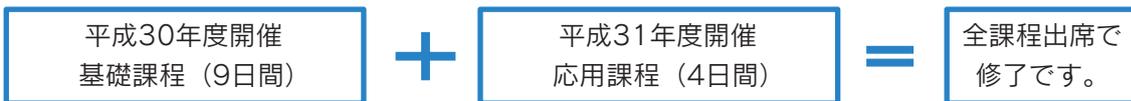
盲ろう者に対してコミュニケーションや情報入手に関する支援をしつつ、自由に外出できるように移動介助を提供する人のことです。この通訳・介助員の存在があることで、盲ろう者のコミュニケーションの自由と移動、外出の自由が保障されます。

↓通訳・介助員になりたい!!というあなた 受講してみませんか↓

## 平成30年度長野県盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

盲ろう者に対する理解を深め、盲ろう者の社会参加のために通訳介助を行う人を養成する講座です。みなさんも盲ろう者の通訳・介助員を目指してみませんか？

### 【養成研修期間】



平成30年度 全9日間	会場
7/7(土)・7/22(日)・8/25(土)・9/8(土)・9/30(日) 10/6(土)・10/28(日)・11/10(土)・11/18(日) 10時~16時 日によって終了時間が変わります	松本市松南地区公民館 または 松本市中央公民館

★詳細はホームページにてご案内しております

### 【受講対象者】

長野県在住で4月1日現在満18歳以上の  
盲ろう者福祉に熱意のある方

【定員】 20名

【受講料】 4,000円 (教材費)

### 【申込み】

申込用紙に記入し、FAXまたは郵送で提出してください。

申込用紙 (開催要項) が欲しい方は、ご連絡ください。

開催要項はホームページからもダウンロードできます。

申込み  
問合せ先

(社福) 長野県聴覚障害者協会  
盲ろう者向け通訳・介助員養成講座担当  
☎026-295-3530 FAX026-295-3567

申込み締切  
6/22(金) 必着

## 新学期にそなえ、教職員対象の手話研修を初めて実施

聴覚障がい者情報センターでは、ろう学校等勤務の先生方を対象に手話研修を実施しました。春休み中にあたる3月28日(水)・29日(木)、長野市・松本市の2会場で同じ内容で開催しました。

午前の聴覚障がい者を取り巻く課題やろう教育の歴史、手話言語条例などの講義のあと、午後は長野県特別支援教育課が作成した「手話ハンドブック」をもとに手話表現の実技をしました。長野県聴覚障害者協会の手話講師による指導では、自己紹介やあいさつの表現のほか、「国語」「算数」「部活動」など学校現場で使う単語の表し方をユーモアも交えながら進めました。



参加された先生は両日を合わせて13人で、多くは新学期から長野ろう学校、松本ろう学校に新たに赴任される先生方でした。感想を伺うと、春休み中の手話研修は、新学期からの準備にとっても役立つ、赴任前に基本的な知識を得られてとてもよかったとのことでした。

聴覚障がい者情報センターでは、今後とも広く手話への親しみを持っていただき、聴覚障がい者を理解していただけるよう、事業を展開していきます。

## 情報センター制作番組

### おすすめDVD 情報センター制作番組

#### ニュージーランド体験記

～ワーキングホリデーを利用して～ 23分

ニュージーランドに行こうと思ったきっかけ、ワーキングホリデーのことなどニュージーランドに1年間滞在した竹花さんのお話です。DVDはどなたでも借りることができます。



DVDの告知をご覧ください。→  
(ニュージーランド手話通訳付き)



CS障害者放送「目で聴くテレビ」で放送されます

7月17日(火)放送 つつうらうら(10分)

いわさきちひろ生誕100年にちなんで松川村よりちひろの紹介をします。

### ◆使ってみよう ひとこと手話

#### 「こんにちは」



両手のひとさし指を向かい合わせ、指先をまげます。

ひとさし指を人に見立て、人と人が出会って挨拶している(頭をさげている)イメージです。

たとえ一言でも手話を使ってくれる人に出会うと、聞こえない人は喜びます。手話を使い、聞こえない人と直接コミュニケーションしようとしているからです。

「ちゃんと通じるかな…?」と心配もあるでしょうが、聞こえない人の顔を見て、口の形も同時にはっきり表せば大丈夫です。

使ってみましょう!

